



保護者の皆様におかれましては、日頃より本校の教育活動に温かいご理解とご協力を賜り、心より感謝申し上げます。9月のしとしとと降る雨の季節が過ぎ、10月に入るとさわやかな秋晴れが広がるようになりました。子どもたちは心地よい秋空のもと、笑顔いっぱいに学校生活を送っています。授業に集中する真剣なまなざし、グラウンドや廊下に広がる元気な歓声、仲間と声を掛け合いながら課題を乗り越えていく姿。日々、子どもたちが魅せてくれる眩しい成長の瞬間に、私たち教職員も大きなエネルギーをもらっています。



みんなでつなぐ「あいさつのバトン」

あいさつ運動リレーより

本校では全校朝会で腕章をバトンとして引継ぎ、学年ごとにピロティや昇降口に立つ「あいさつ運動リレー」を行っています。下校時に「さようなら！」と声を元気に出し、手を振ったりする姿は誇らしく、校内に温かい空気が広がりました。

あいさつは「あなたを大切に思っています」という思いを届ける身近なコミュニケーションです。相手を思いやる心が育ち、全校でバトンをつなぐ経験が「みんなでつくる学校」という一体感を生んでいます。

家庭・学校・地域が笑顔のあいさつでつながり、子どもたちが安心して輝けるよう、今後とも温かい見守りをよろしくお願いいたします。



未来へつなぐ、一人一人の一步

高等部 校内・現場実習

高等部では、将来の社会自立に向けた「校内実習・現場実習」が行われています。

慣れない環境や長時間の作業の中で、緊張から不安を感じたり、戸惑ったりする場面も少なくありません。しかし、そうした葛藤も含めて、一人一人が今の自分にできる力を発揮し「働くこと」に向き合っています。それぞれのペースで得た小さな気づきこそが、将来につながる大切な宝物です。いろいろな思いを抱えながらも一步を踏み出した子どもたちの挑戦を称えるとともに、温かく背中を押してくださるご家庭や関係機関の皆様にご心より感謝申し上げます。



心と体を育む

元気いっぱい！笑顔いっぱい！

グラウンドや体育館、プレイルームで子どもたちの元気いっぱいな声と楽しそうな足音が聞こえてきます。現在、体育及び保健体育の授業では、秋の絶好のコンディションの中で子どもたちが生き生きと体を動かしています。体を動かす楽しさや心地よい汗をかく体験は、体力向上はもちろん、すっきりとした気持ちになることや、自己肯定感を高める上でも非常に大切です。

秋に運動が盛んな理由は2つあります。一つは「気候」です。夏の暑さが落ち着き、体を動かすのに最も快適で安全な季節だからです。もう一つは「歴史」です。1964年の東京オリンピック開会式（10月10日）を記念して「体育の日（現在はスポーツの日）」が制定され、秋に運動を楽しむ文化が全国へ広まりました。

この季節は子どもたちにとって体を動かす心地よさを実感する最高のタイミングです。今後も安全にそして意欲的に運動へ取り組めるよう支援を続けてまいります。

